

日本文化特論VA(文化交流)

選択 2単位

濱田 陽

1. 授業の概要(ねらい)

【学際的、国際的視野に立って日本文化を研究する素養を身につける】

日本文化研究の対象領域は多岐にわたる(宗教、民俗、歴史、文化交流、思想、文学、芸術、生活文化、大衆文化、環境、メディア等)。国内外に優れた日本研究専門機関が存在し、豊富なデータベースも構築されている。これら最新の研究動向、研究潮流、方法論への感度を培い、積極的な文献分析、実地調査を推奨し、修士論文執筆に向けた研究テーマを具体化していくための基盤的指導を行う。

2. 授業の到達目標

【「研究案」をまとめる】

修士論文執筆に直結するテーマについて研究発表を行い、その成果を反映させた「研究案」をまとめる。

3. 成績評価の方法および基準

研究発表・授業参加度(60%)、「研究案」(40%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

必要な資料はプリントで配布

5. 準備学修の内容

積極的に図書館、インターネット、リアル・ヴァイジティングを活用し、研究の軸・糧となる紙媒体情報(主として参考文献)・デジタル情報(参考文献、論文のデジタル版、参考WEBサイト、データベース等)・自己取得資料(自ら撮影した写真・動画、ノート、収集物等)を発掘、集積する。

6. その他履修上の注意事項

修士論文という目標に向かって研究テーマを広げ、深める発表、内容検討の場を提供する。質の高いディスカッションによって文化学の広い視野から自身の研究を見つめ直し、本特論で得る知見を、より専門的な考察へとフィードバックしてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 文化学的なアプローチによる日本文化研究について解説する。 *LMSによるオンデマンド形式による授業
- 【第2回】 テーマ・ディスカッションと個人発表スケジュール決定
何をどのように研究したいのか、紙媒体情報・デジタル情報・自己取得資料の可能性を含め、意見を交換し、共有する。
個人発表のスケジュールを決定する。
- 【第3回】 準備演習
個人発表に不可欠な、レジュメ作成、発表、ディスカッションの方法を指導する。
- 【第4回】 第一回発表
- 【第5回】 第一回発表内容検討
- 【第6回】 第一回発表内容検討
- 【第7回】 第二回発表
- 【第8回】 第二回発表内容検討
- 【第9回】 第二回発表内容検討
- 【第10回】 第三回発表
- 【第11回】 第三回発表内容検討
- 【第12回】 第三回発表内容検討
- 【第13回】 「研究案」完成に向けた検討会
- 【第14回】 「研究案」提出、夏休みから秋学期までの研究計画について指導する。
- 【第15回】 履修者が音声データ・文書ファイルにより発表する。 *LMSオンデマンド形式による授業、第7～12回(6月～7月上旬)の間で実施